

二次審査評価ポイント

種別	項目	中項目	評価項目詳細	
書類審査計				
書類審査	業務実施方針及び工程計画の的確性		本業務を履行するために、関連する経験、実績、技術者配置計画は適切か。業務完了までの手順や工程計画は、関係者協議が的確に予定され、業務期間内に無理ない体制及び工程となっているか。	
		テーマ(1) 統合する学校像	町田市が目指す新たな学校について、上位計画である「町田市未来づくりビジョン2040」、「学校教育プラン24-28」、「町田市新たな学校づくり推進計画」「町田市立学校 施設機能別整備方針」を実現するため、業務の担当となる業務責任者や主任技術者が過去に設計した実例をもとに、具体的な取り組みを記述してください。	上位計画との整合がとれ、どの方針・政策にどう寄与したかを根拠をもって明確に明示されているか 担当者の役割や意思決定・調整の実績が明確で、手法・教訓が汎用化され再現可能な取り組みが検討されているか。
		2校の学校が別敷地で統合する計画において、地域との関わり方や意見の集約など、合意形成を含めた事業の進め方をどう考えているか記述してください。	プロセスの手法(アンケートや個別ヒアリング、ワークショップなど)が具体的で、かつきめ細やかな配慮ある実施計画が組まれているか。 スケジュールとリスクに連動した節目の判断基準、対立時の解決策など、実績に基づいた計画が示されているか。	
	提案内容	テーマ(2) 学校施設的环境整備	町田市立学校施設整備の基本理念及び基本方針を踏まえ、本敷地形状を踏まえた施設配置やアクセス動線などについて記述してください。	高低差、日照、地盤等の敷地分析の深度と、それが計画に適正に反映されているか。 生徒・教員・来訪者・車両の分離や安全性等に配慮した動線計画となっているか。 避難計画、避難所運用を含むBCPの実効性が示されているか。
			生徒の多様性や人口減少、ICT教育の進展、教育形態の変化に即したフレキシブルな学習環境を実現するため、具体的なゾーニング計画および設備計画のあり方について記述してください。(学習形態に応じた空間的可変性、多様な生徒に配慮した環境整備、柔軟な教育環境とゾーニング、将来的な教室の統合・転用を容易にする構造的工夫)	LGBTQ+や特別な支援を必要とする生徒に配慮した工夫が施設設備やゾーニング計画の検討をされているか。 教育形態の変化による空間の使い方が教職員の利便性に寄り添った工夫が検討されているか。 将来的な教室転換による施設設備機器等の拡張性や更新の容易性等に配慮した計画が検討されているか。
			物価高騰下における予算遵守とライフサイクルコストの最適化に向け、資材選定やVE提案、施工合理化等の設計上の工夫について、長期的な維持管理の視点を含めて具体的に記述してください。	目標コストと整合する仕様の優先順位付け、代替案、物価変動を見据えた計画の実現性が検討されているか。 耐久性・保全容易性・更新周期とコストなど、ライフサイクルコストの最適化に配慮した計画が検討されているか。 標準化やモジュール化・プレファブ化などの施工合理化の考えがあり、工期短縮や品質確保に実効性が配慮した計画が検討されているか。
		テーマ(3) 地域活動拠点の環境整備	地域住民が利用しやすいよう、ラーニングセンター(図書室)、体育館、多目的ホールなどの開放諸室を、アクセス動線とどのように連携させ配置するか記述してください。また、市民と学校が連携・協働できる工夫や、不特定多数の利用があっても学校の落ち着きを損なわないゾーニングの工夫を具体的に記述してください。	開放諸室の配置が出入口・受付・動線分離、駐車場計画と連動し、独立しており、利用しやすいのある施設配置が検討されているか。 地域の交流拠点となるようなコモンスペースなどの交流の場を構築し、連携、協働の仕掛けを検討しているか。 学校区画との境界面で音や視線を遮断し、学校の静穏性やセキュリティ性が確保するよう工夫が検討されているか。
			放課後の部活動と地域開放が同時並行で行われる時間帯を想定し、生徒の安全確保と円滑な一般利用を両立させるセキュリティラインの構築手法を記述してください。特に、運営側の負担を軽減するための動線集約や、夜間利用時における管理区域を最小化するための設備・運用上の工夫を具体的に記述してください	物理的遮断や運用を備えた時間帯別セキュリティ計画の検討がされているか。また、実現性があるか。 入口や階段の集約や施設計画、サイン計画により動線を集約し、管理を省力化する計画が検討されているか。